

# Ⅲ 教育目標

## 1 教育目標

憲法及び教育基本法の精神に則り、国及び県の教育施策を踏まえ、

- (1) 知性を高め、徳性を磨き、情操を豊かにし、不屈の精神と健全な身体をつくる。
- (2) 理想を求め、郷土を愛し、輝かしい未来と伝統を築くために、自らの可能性を信じ、積極的、創造的に学習する態度を養う。
- (3) 国際化・情報化に対応した幅広い教養と見識を身につけさせる。

## 2 教育方針

教育目標を達成するため、自律と自立の両方を表す校訓「じりつ」の精神を基本とし、教師と生徒及び父母との連携を保ち、真の文武両道を実践する「規律」ある校風づくりに努める。

## 3 めざす生徒像

- (1) 基本的・基礎的な知識・技能を身に付け、それらを社会における様々な場面で活用できる生徒
- (2) 他者との協働の中で自身の役割を果たし「自立」できる生徒
- (3) 自己肯定感と自己有用感を高める「自律」のできる生徒
- (4) どのような環境下でも「生きる力」で自己実現を図る生徒
- (5) 他者を尊重し、優しや思いやりをもって、常に感謝の心を忘れない生徒

## 4 三学科の目標

各学科における目標をとおして、特色と魅力ある学校作りに努めるとともに、生徒個々の適性を把握し、能力の伸長を図りながら進路指導の充実に繋げる。

### (1) 普通科

- ① 基礎的・基本的事項を修得させ、自ら学ぶ力を育て、専門領域への興味・関心を喚起する。
- ② 特進クラスの導入により、大学をはじめとする上級学校進学への系統的な指導を図る。
- ③ 習熟度別授業等の実施により、生徒個々の適正を把握し、それに沿った進路の実現を促進する。

### (2) 国際人文科

- ① 多様な国際交流の体験を通して、国際感覚を豊かにし、進んで国際社会の進展に寄与する有能な人材を育成する。
- ② 急速に進展するグローバル化に対応できる人材の育成を目標とし、英語コミュニケーション能力を涵養するため、英検受験を奨励し2級以上の取得者を増やす。
- ③ 第2外国語を修得させることにより、英語圏以外の国々における異文化に対する興味・関心を喚起し、視野の広い人材を育成する。

### (3) 体育科

- ① 体育の専門科目を探究し、より高度な運動技能を修得するとともに、将来、体育・スポーツ界で活躍する指導者の育成を図る。
- ② 近隣の小中学校へ出向き、体育的活動の場面において専門のスキルを生かした交流や出前指導を行うことで、地域貢献を図る。
- ③ 充実した体育・スポーツ活動を通して、各自の適正・能力の伸張を図り、生涯スポーツに親しむ基礎的な知識・技能・態度を育てる。

## 本校の追求する文武両道

- 「文」の目的は知を高めることにあり「武」の目的は精神と肉体を鍛えることにある。
- 武により文は支えられ、文により武は高められる。両道とは一体を意味する。
- 文と武とを一体として育成することにより、人格が磨かれ、高い志が生まれる。
- 本校の文武両道は「文武一体」の実現に向けて、全ての生徒・教職員と保護者によって追求されるものである。その原点は保護者、教職員の師弟同行、率先垂範である。

### 5 学校経営方針

- (1)校訓「じりつ」の精神の下、高い自己肯定感と自己有用感をもって自己実現を図る生徒を育成する。
- (2)「生徒の心に火を着ける」プロ意識を持った教師集団「チーム那覇西」の組織体制作りを強化する。
- (3)文武両道の進学校として、生徒一人ひとりに光を当て、生徒の夢実現に向けた早期の進路決定に取り組み、「誰一人取り残さない」教育活動を展開する。
- (4)PTAや同窓会、及び地域との連携を密にし、信頼に応える学校づくりに努める。
- (5)職員の研修等を通しての資質能力の向上と健康保持、服務規律の確保と働き方改革の推進を図る。
- (6)法令を遵守し、適切な文書事務と予算執行及び教育活動の維持管理に必要な物品・施設管理に務める。

### 6 重点努力事項

#### (1)学力向上の推進

- ①基礎的な学力を確実に身に付けさせ、デジタル教材や放課後講座等の充実を図り、自己肯定感と自己有用感の育成とキャリア教育の強化に繋げる。
- ②部活動と学習指導のけじめある連動により、授業及び練習の集中力を養う。
- ③「主体的・対話的で深い学び」の実践を図り、予習・授業・復習の学習サイクルを定着させる。

#### (2)希望進路の実現

- ①国公立や難関私大等に一般入試でも対応できる大学入試共通テスト対策を計画的・継続的に行う。また、総合型選抜や推薦入試等の必要な情報を確実に提供し、多くの受験の機会を確保する。
- ②模試・希望講座・小論文指導等の充実を図るとともに、早期進路決定を促進する。

#### (3)基本的生活習慣の確立を中核に据えた「生きる力」の育成

- ①登下校時間、授業時間、部活動等の時間厳守を徹底し、秩序ある校風をつくる。
- ②教師の率先垂範の下、清掃活動並びに教室の整理整頓を徹底させ、快適で最適な学習環境にする。
- ③態度教育(挨拶、返事、履き物を揃える等)を推進し、品位ある身だしなみを徹底する。
- ④自他への思いやりのある心を育み、人権教育を推進する。

#### (4)授業力の向上

- ①各教科の到達目標を明確化し、全員が身につけるべき基礎基本の定着に向け指導を徹底する。
- ②教科横断的な公開授業を積極的に推進し、互いに切磋琢磨しながら、授業力の向上を図る。
- ③家庭学習、自主学習を習慣化させる「仕掛け」を授業内容に組み込むよう工夫する。
- ④「一人一台端末」の環境に対応したタブレット端末を活用した授業展開の研究・改善を図る。

#### (5)学校の活性化

- ①部活動の加入率向上と活性化、生徒一人ひとりの心身の成長並びに県高校総体男女完全優勝による総合優勝を目指す。

- ②3学科の相互作用を推進し、学年指導体制の強化に努め、各科の特色と活躍を内外に発信する。
- ③資格取得を強化し、国際人文科は卒業までに全員英検2級を取得させ、体育科は漢検3級を取得させる。普通科においては、それぞれの検定において準2級取得を目指す。
- ④自治活動(生徒会)を促進し、生徒の主体性や協調性、及び創造性を育む学校行事の充実を図る。
- ⑤学校緑化に努めるとともに図書室の充実を図り情操教育に力を注ぐ。

#### (6)職場環境

- ①職員が生き生きとやりがいを持って教育活動に取り組む環境作りを推進する。
- ②職員の負担軽減・業務改善を推進し、休暇(年休等)の取得しやすい、持続可能な学校指導・運営体制の構築を図る。

#### (7)信頼される学校づくり

- ①人権意識や規範意識、及び危機管理意識を高め、安全で安心な教育環境を構築する。
- ②一人ひとりを大切にする教育相談体制の充実に努め、心身共に健全なる生徒の育成を目指す。
- ③PTAや同窓会との連携に努め、学校支援組織としてのそれぞれの機能強化を図る。
- ④学校評価等を通して、学校評議員、同窓会、地域社会等の意見、要望等を積極的に活用する。
- ⑤透明性のある迅速かつ確実な学校事務業務を推進する。

## 7 スクールミッション及びスクールポリシー

### (1)スクールミッション

- ①地域の高校として、地域の教育資源を活用した教育活動を通じて、地域の未来を創造する意欲を持った生徒の育成
- ②輝かしい未来と伝統を築くため、自らの可能性を信じ、国際化・情報化に対応した幅広い教養と見識を持った生徒の育成

### (2)スクールポリシー

- ①グラデュエーション・ポリシー(生徒育成方針)
  - ・自ら高い目標を設定し、最後まであきらめない心を育成する。
    - ハードルを下げることなく、何事にもがむしゃらに取り組む生徒
  - ・清らかな心と凜とした態度で未来の夢を語れる生徒を育成する。
    - 物事に素直に感動できる心、自分を律することのできる精神を持った生徒
  - ・那覇西高校の一員としての「那覇西PRIDE」を醸成し、自己肯定感を高める。
    - 「所属感」を大切にし、自分の力に変えることができる生徒
- ②カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施方針)
  - ・特別進学クラスを設置した教育課程の編成
    - 普通科へ特別進学クラスを設置し、国公立大学を中心とした個々の生徒の夢実現を図る。
  - ・異文化理解のための第2外国語を含めた教育課程の編成
    - 多様な国際交流の体験を通して、国際感覚を身につけ、異文化に対する興味・関心を喚起する。
  - ・体育・スポーツ界で活躍する人材を育成するための教育課程の編成
    - より高度な専門的技能の修得はもとより、生涯スポーツに親しむ基礎的な知識・技能・態度を育成する。
- ③アドミッション・ポリシー(生徒募集方針)
  - ・高い志と耐性を備え、自分を律することのできる生徒
  - ・他者とのつながりを大切にし、常に感謝の心を忘れない生徒
  - ・那覇西高校生としての自覚と誇りを持ち、心身共に健全な生徒